

ハウスクリーニング

金高産業

海の食処

いわし料理

なむら

鴨川市天津 1272

TEL.04-7094-0274

南房総市和田町海発 196-1

TEL.0470-47-5477 (水曜定休)

房州日日新聞社

本社

〒294-8691 館山市北条 2199-4

◆広告・購読のお問合せ(営業部) メール eigyou@bonichi.com

TEL 0470-25-5552 FAX 0470-25-5561

取材依頼・情報提供窓口(編集部) メール dokusha@bonichi.com

TEL 0470-25-5530 FAX 0470-25-5571

【鴨川支局】 〒296-0001 鴨川市横渚 1113-1

TEL 04-7093-6401 FAX 04-7094-4010

房州日日新聞

THE BONICHI SHIMBUN

第21184号

(昭和27年8月23日 第三種郵便物承認)【月曜休刊】

12月11日 日曜日

令和4年(2022年) 旧暦11月18日(仏滅)

天気

北の風強い

降水 06-12 12-18 18-24

確率 20 10 10

潮位

満潮 07時03分/17時10分

干潮 11時58分/一時一分

大潮 (布良)

住まいのニュース

いよいよ分譲開始!“下真倉に新登場”みんな幸せ明るい分譲地♪

★漁師料理たてやま 100m、里見の湯 260m、セブンイレブン 400m、コメリ 450m、尾張屋 600m、おどや・南総文化ホール 700m! ●宅地: 48坪~60坪、価格 500万円台(予定)~ ●建物: 3LDK~4SLDK まで多彩なプラン、建築価格 2000万円台(予定)~ ※注文住宅・長期優良住宅・ZEH住宅も OK ●南6m道路の角住戸5区画あり

白幡興業(株)

0470-27-2001

0470-25-5511

農業者90人が研修

安房活性化 地元高校生の活動発表も
フォーラム

鋸 南



講演する高木氏＝鋸南

安房の農林業振興「性化フォーラム」が、のための「安房地域活」鋸南町中央公民館で開かれた。約90人の農業者が参加。講演の他、今年初めて地元高校生が意見や活動を発表する場が設けられた。

安房農林業振興協議会と県安房農業事務所の主催で開催。今年も生産者の高齢化、新型コロナウイルスや国際情勢などの影響を受ける農林業の、課題解決の一助にしようと開かれた。

冒頭、同協議会長の白石治和鋸南町長と、同農業事務所の石川浩

徒3人が動画で「ご当地! 絶品うまいもん甲子園への取り組み」について活動発表を行った。

参加者からは、「気付かなかった身近な地域資源に可能性を感じた」「地域と高校が一体となった取り組みに感動した」など感想が寄せられた。

有効求人倍率 10月は2.19倍
ハローワーク館山
ハローワーク館山
10月の有効求人倍率は前月から0.07ポイント増加し、2.19倍となった。
10月の有効求職者は1303人で、有効求人数は2852人だった。

38人が避難所運営を学ぶ

消防協会 上級幹部らが研修会
安房支部

館山市コミュニティセンターで7日、県消防協会安房支部(吉野隆志支部長)による上級幹部研修会が行われた。安房4市町の消防団、安房消防から38人が参加し、HUG(避難所運営ゲーム)を通して地域防災の向上を図った。

幹部団員(職員)の研修を深め、対応能力の向上によって、地域防災の円滑な運営につなげる。避難所運営を机上で展開

参加者は、避難所の受付をはじめ、運営本部、居住スペース、物資スペースなどを設定。家族連れや高齢者の受け入れや、支援物資の配置場所の確保など、カードで次々に与えられる課題を想定に合わせ、最適な対応方法を互いに話し合いながら進めていた。

吉野支部長は「実際の避難所運営の指揮を執るのは行政の役目かもしれないが、地域を域防災力を高めるきっかけになった」と話している。



避難所運営ゲームを行う消防団員ら＝館山

の避難所運営の指揮を執るのは行政の役目かもしれないが、地域を域防災力を高めるきっかけになった」と話している。

その後、安房拓心高校の生徒2人が、「農業クラブ連盟研究発表大会」の発表内容を披露。館山総合高校の生

ドイツ語で読み聞かせ

鴨川図書館 13人が言語や文化に理解

鴨川市立図書館(時苗茂館長)で、絵本の読み聞かせ会「世界の国に親しんだ」が行われた。ドイツ出身のクラウス・ペーターセーンさんが講師を務め、3歳から8歳までの子どもと保護者ら計13人が、ドイツの言語や文化に理解を深めた。

初めに、ドイツの位置や、ミュンヘンの景色、食べ物などを紹介。少年が想像の世界で怪物の国へ行くというストーリーの、ペーターセーンさんの思い出の絵

房州健康友の会

館山 17日

高齢者の健康増進を目指す房州健康友の会(ボーケンサークル、松原義泰代表)の健康

展望台

警察と衝突する 中国市民の映像が 11月末、盛んに報道された。発端はウイグル自治区で10人の死者が出た火災とのこと。集合住宅周辺がロックダウンされ、消防車が入れず被害が拡大したのだ。他地区でもロックダウンで緊急医療への接触を阻まれ、多くの人が亡くなったという。「ゼロコロナ政策」への抗議行動は主要10都市以上に広がった。以前は不都合な情報はたちまち当局に封印され、国外に流れることはほぼなかった。しかし、ここに来てはつれが起きている。

専制と民心

を使う市民の学習と知恵によるもの。当局は、不都合な書き込みをプロバイダーと連携し迅速に削除してきた。対する市民も削除までの時間を経験的に学習し、より早く「拡散希望」を付けて転送する。デモの呼び掛けは隠語を用い、検閲をかくぐる知恵を使う。外国のプロバイダーを利用し、政府のネット防壁をすり抜ける。情報は大変な速さで国内外に拡散し、同時多発的に抗議行動が起きた。中には「習近平やめろ」「共産党やめろ」など、政治的な主張も加わる。事態の進展は「天安門事件」を想起させる。1989年の「血の日曜日事件」の銃撃により学生ら約3000人が命を落とした推定。要求に柔軟に接した元総書記の追悼集会が政府の強硬な対応で「一党独裁打破、民主化」これが専制の禁忌に触れた。今回の抗議行動は多年代の一般市民が主体だ。数も暴発のエネルギーも大きい。要求が「政権打倒、民主政治実現」へと激化すれば、天安門以上の悲劇が起

このかたない。権力者にとって国民の命など砂1粒の軽さではない。ウクライナ派兵の母親の会でプーチン大統領が言った。「人はいつか死ぬ。問題はどうか死なないか。あなたの息子は目的を達成した。彼の人生は無駄ではなかった」。抗議行動の激しさに習近平政権は政策の緩和を打ち出した。だが、理不尽に憤り自由と権利を求める民心が消え入ることはいくらだ。デモに参加した男性は言う。「死ぬかも知れない。でも、むしろくしゃりしたまま死ぬのとは違って、自分の尊厳を貫いて死ぬのだから満足だ」と。

あす月曜日は休刊日です